

米帝国主義の戦争網拡大に反対する

フィリピン民族民主戦線（NDFP）

2025 年 4 月 30 日

<https://ndfp.info/oppose-us-imperialisms-growing-web-of-war/>

フィリピンと日本、ニュージーランドによる米主導のパートナーシップは帝国主義の支配を強めるだけだ

フィリピン民族民主戦線（NDFP）は、米国帝国主義によるアジア太平洋地域での戦争挑発網の拡大に強く反対する。昨年、米国と日本、フィリピンのマルコス・ジュニア政権の 3 カ国間で締結された軍事枠組みに続く、日本の石破茂首相のフィリピン訪問は、この危険な帝国主義的計画の新たな一環である。いわゆる「強化された戦略的パートナーシップ」は、相互の安全保障ではなく、米国主導の軍事網を強化し、中国を帝国主義間の衝突に巻き込むことを目的としたものである。ワシントンは、この同盟と合意の網を張り巡らせ、中国が戦争挑発の罠に陥ることを期待しているが、最終的に犠牲となるのは、自らの利益に反する戦争の巻き添えとなるフィリピン人民である。

数十年にわたり、米国は地域で緊張を操つり、東アジアと東南アジアでの軍事的優位を維持してきた。現在の動向は、その帝国主義的遺産の継続である。日本は「集団的自衛権」と「地域の平和」を口実にして、戦後の平和憲法を体系的に逆転させ、軍事再武装を進め、ワシントンの指示に従って地域への影響力を拡大してきた。日本がフィリピンと米国との三者協定を含む軍事同盟にますます深く関与することは、フィリピン国民の利益ではなく、米国が中国を包囲・封じ込めるための戦略的野望に奉仕するものだ。

マルコス・ジュニア政権は、米帝国主義の命令に喜んで従う共犯者として、フィリピン国民をこの戦争挑発網の拡大に引きずり込んでいる。恥知らずだ。最近、政権はニュージーランドとの訪問軍隊協定（VFA）の仕上げを進め、4月30日に署名する予定だ。既存の米国とのVFA同様、この新たな協定は、共同訓練、人道支援、災害対応を口実として、ニュージーランドの部隊がフィリピン国内に駐留し、活動することを認めるものになっている。しかしこれは本質的に、米国がアジアにおける軍事包囲戦略を推進するための永久的な外国軍駐留の正式な口実を提供するものだ。国家防衛の行為ではなく、米国帝国主義の戦争挑発への従属であることは明白だ。フィリピンは再び外国介入の拠点として利用され、米国と中国の間で繰り広げられる帝国主義間の対立の駒にされつつある。

これらの軍事同盟と「安全保障協力協定」は、相互排他的で二国間関係として描かれているが、実際には、米国のアジア回帰戦略と中国封じ込め政策に不可欠な枠組みの一部である。日本、ニュージーランド、オーストラリアから韓国、フィリピンに至るまで、米国は第二次世界大戦後の軍事同盟を再編し、戦略的衰退の中での覇権維持を目的として再利用している。

この拡大する軍事パートナーシップのネットワークは、国家主権を侵害し、紛争のリスクを高め、フィリピンを帝国主義間の対立の先鋒の駒としている。平和にも発展にも役立たない。フィリピン人民は、これらの不平等な軍事条約に反対し、外国の支配と帝国主義の隷属から解放された独自の道を切り拓くための国家の独立と権利を再確認しなければならない。

米国が戦争の基盤を築く中、フィリピン人民は自らの解放戦争を闘っている。農村部では、革命運動が人民の民主革命を着実に推進し、真の土地改革、国家工業化、真に主権的で民主的な社会の実現をめざして闘っている。この公正で持続可能な平和への道は、半植民地・半封建体制の打倒と、私たちの土地、海、未来に対する帝国主義の支配の解体によって開かれる。

米帝国主義の戦争同盟打倒

訪問軍隊協定（VFA）破棄

人民民主革命の勝利を

フィリピン民族民主戦線（NDFP）国際局